



* あなたを支える労働組合へ...
ご参加お待ちしております

4月2日 広島市佐伯区五日市町石内で撮影

新規採用者の皆さん、
ご就職おめでとうございます！



広島県自治体労働組合総連合（広島自治労連）
副執行委員長・教育宣伝部長 三宅 一生

桜咲く4月、新年度を迎え、新しい職場で新たな気持ちを抱え、期待と不安のなかで公務・公共の仕事に日々励まれていることと思います。

人手不足が叫ばれる中で公務・公共の職場を志された皆さまには、深い感謝の念でいっぱいです。去年5月にコロナが5類に移行し、事実上の収束を迎えて初めての春となります。以降、それまでの止まった時間が動き出したかのように、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつあります。

このコロナ禍は公務・公共の仕事の大切さが改めて知られる契機となりました。

公務・公共職場の現場では、どこも住民サービスの質と量の向上と共に仕事と責任が増す大変な中で、悩んだり、困ったりすることもあります。

そんなあなたを支える存在の一つとして、労働組合があります。ぜひ労働組合に参加していただき、より良い仕事ができる職場環境づくりに一緒に取り組んでいきましょう。そのことが住民のいのちと暮らしを守ることにあります。

皆様のご加入を心よりお待ちしております。



新規職員の
組合員対象!

組合加入の経済的なメリット
である、共済のプレゼント。
ぜひ受け取ってください★



共済への加入の相談・申し込みは
組合役員または広島自治労連へ

広島自治労連（担当：秋山・小川）
☎082-243-9240
✉hjrouren@urban.ne.jp

第95回広島県中央メーデー

5月1日（水）10時～12時

10時～平和公園噴水前からハノーバー庭園までデモ行進
10時45分～メーデーソングを歌おう
11時～12時 メーデー集会

メーデー集会 ハノーバー庭園
デコレーション・コンクール

1位・5万円、2位・3万円2組、3位・1万円5組、入賞・2千円 登録いただいた団体はすべて表彰します。プラカードは5枚以上で登録して下さい。

労働者の日「メーデー」は、1886年5月1日にアメリカ合衆国シカゴを中心に8時間労働制を求めてストライキを行ったのが起源です。

外郭団体の嘱託職員に

賞上げの4月遡及を
同月数の一時金支給を

同一労働同一賃金の実現を!

広島自治労連 広島市関連労組連絡会・広島市職員労働組合

広島市
外郭団体
秋闘中

外郭団体嘱託職員への待遇差を改善せよの待望を改善せよ

世間では春闘で満額回答という景気のいい話が続いていますが、広島市の外郭団体では年度を過ぎ、未だ「2023年秋闘」を闘っています。

2023年11月の関連連絡会統一交渉では、正規職員は大幅賞上げの上に、4月に遡っての給与改定、一時金4・5月という回答を得て妥結しましたが、嘱託職員については4月遡及なし、一時金2・47月と不合理な待遇差を認めるわけにはいかず、妥結に至りませんでした。

12月～1月にかけて各単組でそれぞれの団体理事者に「同一労働同一賃金」の実現を求め何度も要求書を提出、各団体理事者は

も市の所管課へ問い合わせを続け、2月に再度の回答交渉。

しかし、市から外郭団体理事者に指示がないため、理事者側は苦渋の表情で回答できるものがない、ということでした。

年度末、初の早朝宣伝で訴える

いよいよ年度末になっても回答がない状況で、3月26日（火）7時45分から関連連絡会として初めての早朝宣伝を行い、市の職員に外郭嘱託が被る待遇差と、その改善を訴えました。

回答のないまま新年度を迎えてしまいました。指導調整要綱で外郭団体への責任をもつ広島市へ引き続きこの問題を訴え、交渉を続け改善を勝ち取る決意です。



4/7 広島合同庁舎前宣伝



広島自治労連連続学習会 最終回・第5回目

メディアリテラシーと、私たちの立ち位置

～フェイクニュースを見抜き、確かな社会認識を～

2月27日(火)、広島自治労連連続学習会の最終回・第5回を広島自治労連会議室にて会場・オンライン併用で開催し、計29名が参加しました。

講師には前回の「心理的安全性」学習会に続き、岡山県労働者学習協会の長久啓太事務局長を迎え、「メディアリテラシーと、私たちの立ち位置」フェイクニュースを見抜き、たしかに社会認識を」と題して学習を行いました。

■事実を歪める要因とは？

長久さんは、私たちが普段触れる情報がメディアに



よって加工・編集されたものであることや、その中でも、つい自分の意見に近い情報を集めてしまっていることが事実の認識を歪める要因であると解説されました。



岡山県労働者学習協会 長久啓太事務局長

■幅広い情報収集で真実を見抜ける努力を
これからは自分の物事の見方・考え方が偏っていないか見直しながら、自分とは異なった多様な意見を取り入れ、幅広く情報収集して真実を見抜ける努力は必要であると学びました。



■感想を一部紹介します
「多様性」は常にキーワードになるのだと思いました。自分にバイアスをかけず、自分と異なる人、考え、思いにも寄り添い、受け入れられるようになりたいと思います。

日本製鉄呉跡地は「未来ある活用」を求める

「日本製鉄(以後、日鉄)呉跡地を防衛省が一括購入し、多機能な複合防衛拠点とする」防衛省案に対して、広島自治労連も加盟する広島県労連等7団体は、この案を拒否するよう広島県知事要請、防衛省交渉、昼休み街頭宣伝を行い、4月7日の「日鉄跡地問題を考える会」発足総会には広島自治労連からも参加しました。

この跡地は、旧軍港市転換法に基づき平和産業用地として取得し、平和日本実現が目的の現行法

また、呉基地を母港とする護衛艦「かが」は事実上の空母化第一段階が完了し、防衛ではなく攻撃基地となることは明らかです。

広島自治労連は、「公務労働者は二度と赤紙を配らない」の立場で、住民が子育てから老後まで安心して暮らし続けることを求め運動しております。

それは公務員の憲法尊重、擁護義務と一致して

その視点から、公務員である防衛省職員が住民の命を危険にさらす軍事拠点化を進めることを許さず、また、地元市長・議員、県知事も憲法尊重、擁護義務として、今回の申し入れは拒否すべきであり、説明を聞く、4者協議に臨むなど認められませんか。

呉市民や考える会とともに「日鉄呉跡地」の未来ある活用を求め運動を継続します。



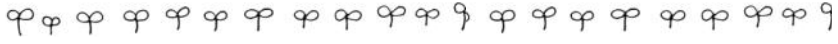
憲法24条に光をあてよう



若尾典子さん

3月10日(日)広島市市民交流プラザで国際女性デーひろしま集会在開催され、全体で112人、広島自治労連から15名が参加しました。

今年テーマは「今こそ『活』！女性たち立ち上がろう」とし、記念講演は元佛教大学教授の若尾典子さんが、「ジェンダーを女性の人権から考える」と題してお話されました。



2024 平和といのちと人権を！5.3ヒロシマ憲法集会
憲法9条で生活破壊を止めよう
 ●5月3日(金)10時～12時 広島弁護士会館3Fホール
 ●講師 竹信三恵子さん(ジャーナリスト・和光大学名誉教授)
 ●資料代 500円
 ●呼びかけ:戦争させない・9条壊すな！ヒロシマ総がかり行動実行委員会

2024年広島憲法集会 マイライフマイ憲法
 ■5月3日(金)13時開場・14時開演 / 参加費2500円
 ■第1部:講演『ぼくらの「未来」に「自由」はあるのか?』
 講師 アーサー・ビナードさん
 ■第2部:憲法ミュージカル
 『シン・主権者って言われても一覚醒のときはいつ?』

県内の自治体・公共職場にはたらく女性の学習交流会
G7広島サミットから1年! いま改めて、平和記念公園を「碑巡り」フィールドワークしよう
 ☆5月26日(日)10時30分～12時
 ☆参加希望者は広島自治労連女性部へご連絡願います。当日の詳細をお伝えします。Tel082-243-9240 mail hjrouren@urban.ne.jp